

平成26年度 徳島県立名西高等学校経営計画

1 学校教育目標

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、知・徳・体の調和がとれた誠実で民主的・創造的な実践力のある心身共にたくましい人間を育成する。
- 2 生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすとともに、個人の尊厳と基本的人権を尊重し、民主社会の実現に貢献できる人間を育成する。
- 3 我が国の文化と伝統を尊重するとともに、平和な国際社会づくりに貢献できる人材を育成する。

2 学校経営計画中期的

- 1 真に自分を大切にする教育の徹底により、自己実現への意欲や態度を養うとともに、正しい人権感覚を身に付つける。
- 2 国際理解教育の推進及び伝統芸能・伝統文化の継承による芸術科の充実。

3 本年度重点目標

- ① 望ましい人生観・職業観の育成と進路実現
- ② 豊かな人間性を育てる心の教育の推進
- ③ 基本的生活習慣の確立と社会人としての資質の育成
- ④ 新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上
- ⑤ 英語教育の充実と国際交流の推進
- ⑥ 郷土や日本の伝統芸能・伝統文化の継承
- ⑦ 地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進
- ⑧ ホームルーム活動と部活動の活性化

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
希望の進路をかなえさせる	①望ましい人生観・職業観の育成と進路実現	進路課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
			① 生徒に進路情報を随時提供することができたか。	①		
			② 職場開拓を5社以上行うことができたか。	②		
			③ 就職希望者に対して2回以上の面談を行い、希望が達成できるように支援することができたか。	③		
		④ 最終進路先に満足する生徒の割合が90%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が90%以上であったか。	④			
		進路課	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 生徒に進路情報を随時提供する。 (「木鐸」年1回、職場体験やオープンキャンパス等各種案内随時)	①		
			② 職場訪問を20社以上行う。	②		
③ マッチングフェアを利用し、ハローワークと連携を深め、未決定者への支援を行う。	③					
④ 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。	④					
進路課 3学年共通	進路課 3学年共通	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)		
		⑤ 講演会や進路集会を各学年2回以上開催したか。	⑤			
		活動計画	活動計画の実施状況			
		⑤ 進路に関する講演会や学年別進路集会を通して、学力向上への意欲や望ましい職業観の確立を図る。	⑤			

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
自己肯定感や他者を尊重する姿勢を持てるよう指導する	②豊かな人間性を育てる心の教育の推進	人権教育課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
			① 人権に関する課題について教職員間で共通認識が持てたか。	①		
			② 生徒による人権意識を高める活動を推進することができたか。	②		
		③ 人権や人格を尊重する生徒の意識や態度を育てることができているか。	③			
		活動計画	活動計画の実施状況			
		① 学年検討会や人権教育研修会を開催したり、校外の研修会に参加して職員会議等の機会にその報告を行ったりする。	①			
	② 生徒会人権委員会による人権に関する展示や朝の朗読を行う。	②				
	③ 3年生対象の「人権に関する意識調査」において、人権課題に取り組む意欲を示す回答を70%以上にする	③				
	生徒指導課 教育相談	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		④ 学校いじめ防止方針に基づき、いじめ防止に取り組めたか。	④			
		⑤ 必要に応じた職員研修やケース会議が実施できたか。	⑤			
	生徒指導課 教育相談	活動計画	活動計画の実施状況			
④ 年間計画を作成し、未然防止の取り組みを徹底させる。		④				
			⑤ 教科担任会や学年会・職員研修を計画し、効率的に運用する。	⑤		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
生徒の自主的な活動のサポート体制をさらに強化する	②豊かな人間性を育てる心の教育の推進	特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			⑥ 全校生に趣旨の徹底をはかるとともに自発的にとりくむことができたか。	⑥		
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
		⑥ 生徒会が中心となり、自主的に募金活動等のボランティア活動を実施する。	⑥			
	図書課 各学年	評価指標	⑦ 全教職員の理解を得られるように、「朝の読書」の主旨を知らせ、協力を得られたか。	⑦	総合評価 (評定)	
			⑧ アンケートを実施して結果を周知し、改善を図ったか。	⑧		
		活動計画	⑦ 「朝の読書」を充実させるため、原則として全員の教職員が指導に当たり、生徒も教職員も読書を楽しむ。また楽しめていない生徒への関わりを深めてもらう。	⑦		
			⑧ 「読書の生活化プロジェクトⅢ」の取り組みとして、年2回、家庭での読書時間調査を実施する。結果を周知し、人生に潤いをもたらす読書活動を定着させていく。	⑧		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
計画的・効果的な情操教育を展開する	②豊かな人間性を育てる心の教育の推進	環境教育課	評価指標	活動計画の実施状況	総合評価 (評定)		
			⑨ ゴミの分別をすることがECOにつながることを自覚させることができたか。	⑨			
			⑩ 環境を整え学習効果をあげるとともに、美化を推進することができたか。	⑩			
		⑪ 地域の美化に貢献する気持ちを育て、奉仕の精神を養うことができたか。	⑪				
		環境教育課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
			⑨ ゴミ分別チェック表を毎月提出する。	⑨			
	⑩ 月に1回大掃除を実施する。		⑩				
			⑪ 1, 2学期末に校外奉仕活動を積極的に進行。	⑪			
	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)			
		⑫ 校内展覧会・演奏会などを通して豊かな感性の伸長を図り、情操教育を展開することができたか。	⑫				
	芸術科	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)			
		⑫ 県内唯一の芸術科を持つ学校としてその有利性を発揮し、美術・書道の常時展示や文化祭等での演奏などを積極的に行う。	⑫				
保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)				
	⑬ 保健室の機能を生かし、養護教諭、カウンセラーと連携した相談支援活動を行うことができたか。	⑬					
	⑭ 年間3回健康相談を実施し、生徒の健康保持増進に努めることができたか。	⑭					
保健厚生課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)				
	⑬ 生徒の心の悩みに気づき、担任、保護者、養護教諭、カウンセラーとの連携を図る。必要な場合は専門の相談機関等につなげる。	⑬					
		⑭ 年間3回、学期ごとに1回、学校医による健康相談を実施する。	⑭				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
基本的な生活習慣の確立と社会人としての資質の育成	③基本的な生活習慣の確立と社会人としての資質の育成	生徒指導課 各学年	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	
			① 遅刻数の増減を確認し、改善するよう適切に指導できたか。	①		
			② 服装頭髪指導の徹底を図り、違反者が減少したか。	②		
			③ 交通事故数と、交通ルール違反数（警察からの通知）が減少してきたか。	③		
		④ 規範意識の高揚を図り、その結果特別指導数が減少してきたか。	④			
		生徒指導課 各学年	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 遅刻した生徒に対して、遅刻カードを記入させ、遅刻数を確認させる。また各学期で10回以上遅刻した生徒に対して遅刻指導を行う。	①		
			② 頭髪・服装が適正でない生徒への指導を行う。（全校集会時の一斉指導、また学校生活すべてでの常時指導の徹底）	②		
③ 交通事故の防止と交通マナーの向上に向けた指導を行う。（街頭登校指導(月1回)・交通マナーアップ運動(月1回)・交通安全講話(年1回)・自動車免許取得のための講習会(年2回)・原付バイク講習会(年1回)の実施。	③					
④ 社会のルールや法律、学校の規則に対する規範意識の高揚を図る。（全校集会やホームルーム活動を中心に、機会あるごとにルールを守る大切さを理解させる）	④					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価			
基本的な生活習慣の確立を目指す	③ 基本的な生活習慣の確立と社会人としての資質の育成	保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
			⑤ 内科検診、結核検診、心電図検査の全員受診、二次検査対象者の全員受診を完了することができたか。	⑤			
		⑥ ほげんだよりを学期に1回以上は発行することができたか。性に関する講演会を年1回以上実施することができたか。	⑥				
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)			
	保健厚生課	⑤ 健康診断の結果、二次検査が必要な生徒に対して受診指示を周知徹底する。	⑤				
	⑥ ほげんだより、文化祭の展示などの啓発活動を実施する。性に関する講演会を実施し、生徒の意識の向上と理解を深める。	⑥					
特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)				
⑦ 毎週1回以上実施できたか。	⑦						
特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)				
⑦ 生徒会役員が中心となり、登校時に「あいさつ運動」を実施する。	⑦						

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価			
基礎学力が定着していない	④新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上	教務課 進路課	評価指標	① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が各学年ともに30%以上、かつゼロ時間の者が各学年ともにゼロであったか。	①	(評定)	
		教務課		② 授業時数確保に努める。	②		
		進路課		③ ST(ステップアップトレーニング)において、1年国語では確認テストの平均得点率7割以上の者が70%以上であったか。2年国語では漢字検定の各級合格者が60%以上であったか。1,2年数学では各問の正答率が80%以上であったか。英語は平均得点率6割以上の者が30%以上であったか。	③		(所見)
				④ 家庭学習時間を確保させるために、各教科でSTの実施曜日にあわせた家庭での課題を計画的に実施する。	④		
		教務課 進路課		⑤ 欠点者数の割合が、前学期或いは前年度よりも減少したか。	⑤		
				⑥ 成績不振者への対応ができたか。	⑥		
		教務課 進路課	活動計画	① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識付けを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	①	活動計画の実施状況	
		教務課		② 行事などの精選を図るとともに、自習を減らす。	②		
		進路課		③ 基礎学力の向上を図るため、国語、数学、英語でSTを実施する。	③		
		進路課		④ 1,2年生におけるSTの課題、全学年における各教科の課題を計画的、継続的に実施してもらう。	④		
		教務課 進路課		⑤ 欠点を取らないよう、授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させ、授業態度や提出物等の指導をより徹底する。	⑤		
				⑥ 定期考査における成績不振者には長期休業中に補講や特別補講、復習課題を課し、学力補充に努めさせる。	⑥		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
さらなる学力向上を目指す	④新しい時代に対応した学習活動の活性化と総合的な学力の向上	3学年共通 総合学習科	評価指標	① 面談を実施し、個別学習指導ができたか。	①	総合評価 (評定) (所見)
			② 効果的にテキストを活用し、計画どおりに実施できたか。	②		
			③ 生徒を対象とした小論文講演会を実施する。	③		
		3学年共通 総合学習科	活動計画	① 全生徒と4回以上学習についての面談をする。	①	
			② 小論文学習において国際理解をテーマとする時間を設定する。	②		
			③ 国際理解・国際交流の体験・学習を小論文の形で表現できる力をつける。	③		
SELHiの遺産を生かす	⑤英語教育の充実と国際交流の推進	英語科	評価指標	① 授業評価アンケートを実施して評価する。	①	総合評価 (評定) (所見)
			② STテストや週末課題が計画どおり実施でき、生徒の英語力が向上したか。	②		
			③ 英検の受験者数・合格者数は増えたか。英語セミナーなどへの参加者は増えたか。	③		
		英語科	活動計画	① 校内研修会などを通して授業改善を進め、生徒の英語学習へのモチベーションを高める。	①	
			② 「ステップアップトレーニング」の授業・週末課題・確認テストのサイクルを円滑に実施し、英語の基礎力を高める。	②		
			③ 英語検定の受験や英語セミナーなどへの参加を勧め、英語力の向上を図る。	③		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
国際理解教育の推進を続ける	⑤英語教育の充実と国際交流の推進	国際課 英語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			④ 国際交流に興味を持ち、積極的に交流ができたか。	④		
			⑤ 生徒の国際理解は深まったか。	⑤		
		⑥ ドイツ研修旅行の事前研修が円滑にでき、旅行が充実したものになったか。	⑥			
		活動計画	活動計画の実施状況			
		④ 海外姉妹校との交流を活発に行う。	④			
	⑤ 海外の方や海外経験の豊富な日本人を招き講演会を実施し生徒の国際理解を図る。	⑤				
	⑥ ドイツ研修旅行の事前準備・実施を円滑に行う。	⑥				
情報視聴覚課		情報視聴覚課	評価指標	評価指標の達成度		
			⑦ 各行事の結果等についてホームページで発信できたか。	⑦		
情報視聴覚課		情報視聴覚課	活動計画	活動計画の実施状況		
			⑦ 各取組をホームページを通して頻度多く発信する。	⑦		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
国際理解教育の推進を続ける	⑥郷土や日本の伝統芸能・伝統文化の継承	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			① 音楽科の生徒及び普通科音楽選択生に、伝統音楽や和楽器の授業を実施できたか。書道・日本画など伝統文化の継承者を育てることができたか。	①		
		② 音楽科の和楽器専攻の受検者や箏曲・美術・書道に興味を持つ生徒が増えたか。	②	(所見)		
		活動計画	評価指標の達成度			
芸術科	① 1. 2年普通科・芸術科の授業に、和楽器の演習を年間4時間以上取り入れる。日本の伝統芸術に興味・関心を持たせ、継承者を育てる。作品等を展示し全校生徒にアピールする。	①				
	② 和楽器専攻生の募集や箏曲部の活動を積極的に進める。日本の伝統芸能や書道・日本画など日本文化を継承する人材を育成する。	②				

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
国際理解教育の推進 ける続	⑥郷土や日本の 伝統芸能・伝統 文化の継承	特別活動課	評価指標 ③ 部員数は昨年度より増えたか。 発表の機会は増えたか。 他校生との交流は実施できたか。	評価指標の達成度 ③	総合評価 (評定)	
		特別活動課	活動計画 ③ 日本文化に関する文化部活動の一層 の活性化を図り、郷土や日本の伝統 芸能・伝統文化の継承に努める。	活動計画の実施状況 ③	(所見)	
地域社会への情報発信を強化する	⑦地域社会との 連携と開かれた 学校づくりの推 進	総務課	評価指標 ① P T A活動で学校と協力して校外清 掃奉仕活動や、校内美化活動ができたか。 ② 文化祭でバザー、模擬店の出店や、 体育祭では麦茶の提供ができたか。 ③ 高P連や生指協関連の大会・研修へ の参加を含め、P T A研修を実施で きたか。 ④ 年1回藤花同窓会が開催できたか。	評価指標の達成度 ① ② ③ ④	総合評価 (評定) (所見)	
		総務課	活動計画 ① P T A役員の方々により、石井駅周 辺や通学路の清掃奉仕活動を実施す る。校内正門・玄関周辺の植栽（プ ランター）を整備する。 ② P T Aによるバザーや模擬店を文化祭 で開催、また体育祭においては麦茶 の提供を行う。 ③ 県高P連総会や研修会、生指協連絡 協議会等に参加し研修する。校内に おいては大学訪問を実施し、進路に ついて研修を深める。 ④ 第35回藤花同窓会を開催する。	活動計画の実施状況 ① ② ③ ④		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
地域社会への情報発信を強化する	⑦地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	教務課	評価指標	④ 「入学案内」の構成や情報内容が改良，更新されたか。	④	総合評価 (評定) (所見)
			⑤ 体験入学の参加生徒や保護者に，本校教育の内容やその説明がよく理解できたと評価されたか。	⑤		
		教務課	活動計画	④ 本校教育の内容をよく理解し，わかりやすい特色にまとめ上げ，説明会等の資料にも活用する。	④	
			⑤ 体験入学，学校説明会，HP等を通じて，本校教育の特色など本校に関する情報を提供し，中学生に進路選択に活用してもらおう。体験入学等のポスターを作成し多くの参加者を募る。理解状況は，体験入学時にはアンケート等も実施して確認する。	⑤		
		情報視聴覚課	評価指標	⑥ 学校での様々な取組みをホームページで紹介できたか。	⑥	
			情報視聴覚課	活動計画	⑥ 学校行事や部活動等の様々な取組みをホームページで頻度多く掲載する。月に10回以上の更新を行う。	
	芸術科	芸術科	評価指標	⑦ 校外での展覧会・音楽会等の広報活動を行い，多くの観客を動員することができたか。	⑦	総合評価 (評定) (所見)
			⑧ 県内唯一の芸術科を有する学校として，地域社会と連携し芸術・文化の発信に寄与する事ができたか。	⑧		
		芸術科	活動計画	⑦ 地域社会での文化祭，展覧会，文化行事などに積極的に参加する。年間3回以上行う。	⑦	
			⑧ 地域社会と連携し，校内・校外で合同展覧会・合同演奏会を行い生徒の作品や演奏を披露するとともに，地域社会での芸術活動の一翼を担う。	⑧		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画	評価		
地域社会への情報発信を強化する	⑦地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	生徒指導課	評価指標 ⑨ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して全国交通安全運動や地域安全運動に自主的・積極的に地域での活動に参加できたか。	評価指標の達成度 ⑨	総合評価 (評定) (所見)	
		生徒指導課 家庭科	⑩ 交通安全キャンペーンで学校家庭クラブがマスコットを製作し、自主的・積極的に地域での活動に参加できたか。	⑩		
		生徒指導課	活動計画 ⑨ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して全国交通安全運動や地域安全運動に参加する。	⑨		
		生徒指導課 家庭科	⑩ 交通安全キャンペーンで学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。	⑩		
		環境教育課	評価指標 ⑪ 避難訓練を年2回実施したか。	⑪		
		⑫ 外部機関と連携した防災教育を実施したか。	⑫			
	環境教育課	活動計画 ⑪ 緊急時に適切な行動がとれるようにするため、地震・火災を想定した避難訓練を実施する。	⑪			
	⑫ 安全確保に対する意識を高めるため、防災教育を充実させる。	⑫				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
生徒の自主的・自発的活動を支援する	⑧ ホームルーム活動と部活動の活性化	特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)
			① ホームルーム活動の時間数が確保できたか。ホームルーム活動の内容(18項目)が実施されたか。	①	
		② 活動者数(部員数)は増えたか。大会参加や発表の機会は増えたか。大会等での成績は向上したか。	②		
		特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)
① 生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようなホームルーム活動を行う。	①				
② 生徒自らが意欲的に活動できる充実した部活動を行う。	②				